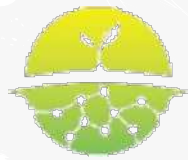


東京都排出量取引セミナー & マッチングフェア2026



Creattura

クレアトゥラ株式会社

Creattura Co., Ltd.

排出量取引に関するご提案

セールス & マーケティング部

藤本 剛志



1. 会社概要 (1/2)



<Mission>

To preserve and regenerate humanity's natural heritage for future generations

かけがえのない自然を次世代へ

<Vision>

**To pioneer innovative climate solutions utilizing technology and climate finance,
in order to reduce greenhouse gas emissions and protect our planet's natural capital.**

脱炭素社会の実現と自然資本の回復へ
テクノロジーとカーボンファイナンスを駆使し、先進的なソリューションを創造します

1. 会社概要 (2/2)

名称	クレアトゥラ株式会社	設立	2022年7月4日
代表者	代表取締役CEO 服部 倫康	資本金	1億円
本社所在地	東京都中央区日本橋富沢町10番13号 WORK EDITION NIHONBASHI 7階	株主	主要経営陣、DBJキャピタル(株)、三井住友海上キャピタル(株)、日本ベンチャーキャピタル(株)、Niterra 水素の森ファンド(運営者：グローバル・ブレイン(株))、TOKYU-CNST GB Innovation Fund(運営者：グローバル・ブレイン(株))
取引銀行	りそな銀行 室町支店 商工組合中央金庫 本店 日本政策金融公庫 東京中央支店 三井住友銀行 麹町支店 三菱UFJ銀行 日本橋支店 住信SBIネット銀行 第一法人支店	代表 経歴	<ul style="list-style-type: none">1999年に大学卒業後、アンダーセンコンサルティング(現アクセンチュア)に入社し、官公庁を中心にIT・BPRのコンサルティングに従事。2006年、リクルートエージェントに転職。経営企画部等で中期経営計画の策定・推進等に従事。2010年エコノスに新規事業部の責任者として入社。カーボン・オフセット事業の立ち上げに従事。当社でスイスNPOマイクライメイトとの事業提携を実現。2011年にエコノスとマイクライメイトの共同出資でマイクライメイトジャパンを設立。2013年より代表取締役。2019年に同社を離れ、1社同業の代表を務めたのち、2022年クレアトゥラ株式会社を設立。名古屋大学工学部機械・航空工学科卒業。 INSEAD(仏)・清華大学(中) Dual Degree EMBA修了。
主な事業	カーボン・クレジット、再エネ証書取引 カーボンクレジット開発 気候変動対策推進コンサルティング IT/SaaSサービス		

2. 弊社の特徴

豊富な実績・人材に裏付けられた質の高いサービスを提供しております



取引実績

140万トン以上のクレジット、
再エネ証書の販売実績*1
(22年7月-26年3月)

*1: 再エネ証書はCO2換算



クレジット創出の知見

8カ国でのJCM開発経験*3

*3: 社員が有する実績含む

多様な方法論を用いた
Jクレジット申請等経験*4

*4: 社員の有する経験、および、自社開発分含む。EN-S-002、EN-S-012、EN-R-001、EN-R-002、AG-004、AG-005、FO-001

Jクレジット・
JCM方法論提案・採択経験

*3: 社員が有する実績含む



ITの活用

社内ITチームの保持による
カーボンのクレジットに特化した
システムの開発能力

特許の取得実績



グローバルネットワーク

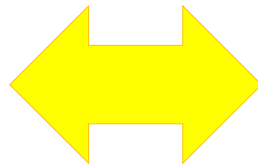
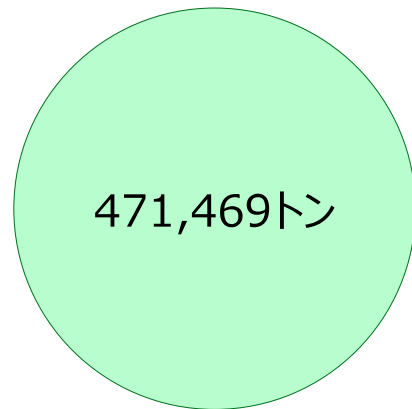
12カ国・地域からの
多様な人材
(25年1月時点)

9カ国・地域のパートナーを
通じた業務・取引実績
(24年1月時点)

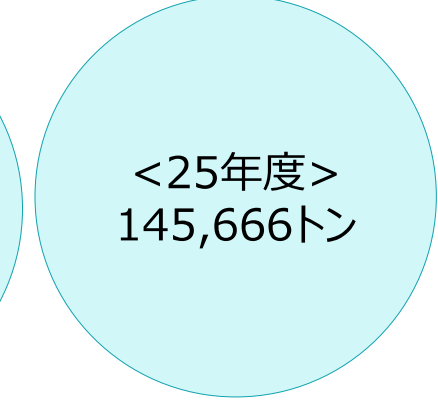
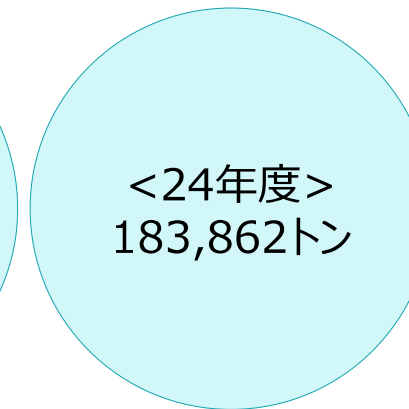
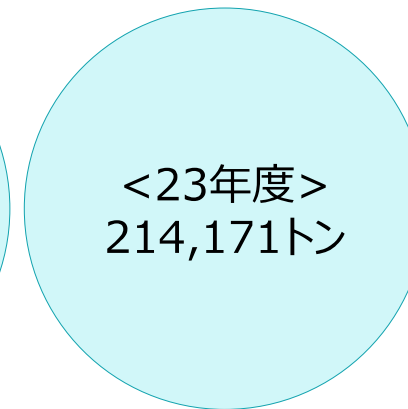
3. 東京都排出量取引制度 弊社の取引実績

- » 東京都が公表している一般管理口座間の移転実績には、売買が伴わないグループ内・企業内の取引も含まれます。
- » その中で、弊社は相当程度の売買を実現しております。

弊社の移転実績
(22～25年度合計)



東京都の一般口座間の移転実績



合計926,708トン

弊社で全体の51%の移転を実施

4. 弊社からのご提案

» 取引実績が豊富な弊社に是非ご相談いただくと幸いです。

① 第3計画期間

- 超過削減量については、9月までの整理期間を直前に控え、供給過多により以前の取引価格を下回る金額で取引されております。
- **既に底値に近い金額感となっているため、削減義務履行に向けて購入が必要な場合には、すぐにでも弊社にお声がけください。**
- **売却を希望する場合は、この市場感を考慮すると弊社の購入は限定的にならざるを得ず、基本的には弊社へ買い手のお声がけがあった際に取引開始となります。**

② 第4計画期間

- **購入を希望する場合には、第4計画期間で活用できる超過削減量のご提供はすでに可能です（弊社として在庫を有しております）。**
- FIT非化石証書や電力会社が提供する電力メニューによる対応も第4計画期間より可能となっていますが、仮に非化石証書の最低価格で対応した場合には約950円/トン以上の価格となるため、RE100等の別目的での購入を考えていない場合には、超過削減量での対応が経済的に最も合理的な手法となります。

5. 東京都排出量取引制度 第4計画期間に向けたポイント

- » 流動性が低く、取引実態がわかりづらいマーケットのため、円滑な取引には実績のある仲介事業者を活用することが重要です。
- » そのような中、**第4計画期間で活用できる超過削減量のご提供が可能な弊社に相談頂ければ幸いです。**

購入希望者の注意すべきポイント

第4計画期間の削減義務率が多くの事業所で48%～50%に上がることもあり、提供側の超過削減量価格上昇への期待が大きい。

纏まった数量を提供できる事業者や、取引を経験したことのある事業者は限られるため、仲介事業者を使わないと契約や移転の手続きが煩雑になる可能性が高い。

売却希望者の注意すべきポイント

FIT非化石証書や電力会社の電力メニューを活用できることから、RE100やSBTiの対応を推進する企業は、超過削減量の購入が基本的に必要なくなる。

各事業者は、東京都・埼玉県間を含めて、グループ・企業間での取引を優先するため、購入希望者を特定し、取引を交渉することには労力を有する。

購入希望者も、新任の方が就くことが多くあり、制度に対する説明を求めるため、超過削減量の売却には、相応の業務知識・経験が求められる。

免責事項

- 本資料は、作成日において弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成したものであり、その情報の正確性・確実性について保証するものではありません。また、今後の業界動向等の変化により、内容が変更となる場合がございます
- 本資料を使用した結果について、弊社は責任を負いません
- 本資料に係る一切の権利は、他社資料の引用部分を除いてクレアトゥラ株式会社に属し、いかなる目的であれ、本資料の一部または全部の無断での使用・複製はお断りいたします



Creattura 問い合わせ先

☎ +81 03-6777-7880

✉ info@creattura.com

🌐 www.creattura.com

